

## (株)YSKと「業務提携契約」を締結 ～中古資産の海外販路開拓・国内市場の活性化を通じ、循環型社会の形成をめざす～

静銀リース（社長 若林 紀伸）では、グループで取り組む第1次中期経営計画「Xover～新時代を拓く」の基本戦略「地域共創戦略」の一環として、中古資産（不要設備や遊休資産など）の海外および国内市場の活性化を目的に、株式会社 YSK（代表取締役社長 早川 良明）と業務提携契約を締結しました。

今後は、両社で連携し、中古資産の処分や再利用に苦慮されているお客さまへの支援を通じて、効率的な資源の利活用による循環型社会の形成に貢献してまいります。

### 1. 締結日 7月29日（火）

### 2. 提携の背景、目的について

- 近年、中古資産市場の重要性が注目されるなか、静銀リースでは、中古資産（リース満了資産、遊休設備等）の有効活用や、よりニーズのある市場への流通について検討してきました。
- また、相続や事業承継分野においても、資産の円滑な移転と次世代への継承が重要なプロセスであることから、資源の適切な活用による循環型社会の形成は、持続可能な社会の実現に向けて必要な不可欠な要素といえます。
- こうしたことから、このたび、中古資産取引や相続・事業承継等に関する資産整理の専門知識を有する株式会社 YSKと業務提携を締結し、従来のリース期間満了資産に加えて、工場内の非稼働資産等を含め中古資産として売却できる体制を整備し、お客さまの幅広いニーズにお応えします。
- さらに、両社で人財交流などを実施し、互いのノウハウを共有することで、中古資産の有効活用によるサーキュラエコノミー（循環型経済）の構築を推進し、サステナブルな地域社会の実現に貢献してまいります。

### 3. 締結内容

- 中古資産にかかる海外及び国内市場での販路拡大に関すること
- 中古資産（リースアップ資産、工場内非稼働資産など）の紹介に関すること
- 相続や事業承継ニーズの紹介に関すること
- 中古資産売却ノウハウの相互共有に関すること
- その他必要と認められる事項に関すること

